

情報公開文書

課題名：睡眠時無呼吸症候群で加療した症例の検討

研究期間：倫理委員会承認日～2025年12月31日

1. 研究の対象

2010年1月1日以降2025年9月30日までに睡眠時無呼吸症候群で当院にて加療された方

2. 研究目的・方法

目的：睡眠中に空気の通り道である上気道が狭くなったり、一時的に閉塞したりすることによって発症する閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する治療は、CPAP療法と呼ばれる経鼻的持続陽圧呼吸療法、マウスピース療法、および手術療法があります。この3者の治療コンセプトは基本的には同じですが、上気道の拡大可能な度合いの違いのため治療効果が異なります。今回、2010年以降にどのような患者さんに上記3者の治療がなされたのか、またその治療効果、治療継続について検討したいと考えております。

方法：上記対象期間に睡眠時無呼吸で外来および入院加療した患者さんの診療録を用いて、性別、年齢、身長、体重、BMI、ポリソムノグラフィーの検査結果等について分析します。CPAP療法、マウスピース療法、手術療法(鼻、咽頭)を適応した要因と治療効果およびCPAP治療継続困難例においてはその原因と鼻咽腔形態についても分析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から、性別、年齢、身長、体重、BMI、ポリソムノグラフィーの検査結果等を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター耳鼻いんこう科 加藤照幸(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328 電話: 053-453-7111